

白内障手術を中心に緑内障や涙目など 患者様のニーズに合わせた治療を



駐車場30台と十分にあり、薬局も近隣にあるため利便性が高い

2023年5月に北栄メディカルモール内に開院。白内障や緑内障、涙道疾患に対して手術を主体とした治療を提供している。駐車場は約30台分を完備、会計はセミセルフレジを導入し、院内での滞在期間が短く済むように心がけている。

手術は毎月およそ100件近くへのぼり、開院以来、待機期間が1.5カ月を超えたことない。早期の対応を求められる患者がすぐに手術を受けられる体制を整えている。

白内障手術では、乱視矯正の眼内レンズや、緑内障を合併する患者には「iStent」という器具を眼内に挿入し、白内障と緑内障を同時に治療するなど、患者のニーズに対応している。

特筆すべきは、「多焦点眼内レンズ」を導入している点であり、苫小牧市では唯一の導入となっている。通常



ホテルのロビーをイメージした待合室



安心した雰囲気でも最新機器を揃えた手術室



院長 清水 恒輔

札幌市出身。2007年旭川医科大学卒業後、同大病院眼科勤務を経て名寄市立総合病院、釧路ろうさい病院、王子総合病院などの眼科専門医として勤務。2019年からは医療法人社団済安堂札幌・井上眼科クリニックで院長を務めた。2023年5月に苫小牧しみず眼科を開院。日本眼科学会専門医、身体障害者福祉法指定医、視覚障害者用補装具適合判定医師。日本眼科学会、日本涙道・涙液学会、日本網膜硝子体学会所属。

の白内障手術では、術後も眼鏡が必要になることが多いが、多焦点眼内レンズを選択することでその使用頻度を大きく減らすことができる(※選定療養のため追加費用が必要)。「慣れるまで時間がかかる方もいらっしゃいますが、新聞も裸眼で読めるようになり、生活がより快適になったと喜びの声をいただいています」。さらに、緑内障の点眼を減量できるレーザー治療(SLT)を外来で行っている。勤務の都合で点眼が難しい、点眼にご家族の介助を要する方などに負担の少ない治療法として好評を得ている。

また、涙目の原因となる鼻涙管閉塞に対して、「涙道内視鏡」を用いた治療を行っており精度や安全性を高めている。「常に最新の知見に基づいた治療を心がけております。特に早期の治療がご希望の方はご相談ください」。

苫小牧しみず眼科

☎(0144)84-8302



苫小牧市北栄町1丁目22番52号

←ホームページはこちら

眼科

診療時間／
月・水・金／8:45～12:00 14:00～17:00
火・木／8:45～12:00 ※午後は手術
第2・4土曜／8:45～12:00
休診日／第1・3・5土曜、第2・4土曜午後、
日・祝日

